

平成 29 年北秋田市議会 3 月定例会行政報告

北秋田市議会 3 月定例会が開催されるにあたり、12 月 1 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

平成 28 年度職員採用試験を 1 月 7 日 8 日に実施しており、消防吏員（2 次募集）及び水道技術職については、1 月 7 日に作文・面接試験のほか、消防吏員は教養試験を実施しました。大学卒一般行政（2 次募集）については、1 月 8 日に小論文・面接試験を実施しました。消防吏員には 24 人、水道技術職には 1 人、大学卒一般行政には 22 人が臨みました。結果として、消防吏員 2 人、水道技術職 1 人、大学卒一般行政 5 人の合格者を 1 月 31 日付けで告示しております。

1 月 31 日、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づいた、北秋田市空家等対策協議会を開催しました。委員 8 名に対し市長より委嘱状が交付された後、「北秋田市空家等対策計画」の策定に向けた協議が行われました。今後は、パブリックコメントによる市民からの意見を募集するとともに委員からのご意見等を反映した計画策定を行う予定です。

<総合政策課関係>

12 月 1 日、地域公共交通調査事業の一環として、中心市街地循環バスの実証運行を開始しました。北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」を起終点に、中心市街地の主要な施設を回るルートを午前 10 時から午後 3 時まで一日 6 便運行し、運行最終日の 12 月 28 日までの 28 日間に延べ 410 人の利用がありました。今後は運行結果及びアンケート内容を分析する予定です。

12 月 9 日と 10 日の 2 日間、都内渋谷ヒカリエにおいて「地方創生フォーラム まちてん」が開催され、自治体ブースに本市も出展し、世界遺産登録を目指している伊勢堂岱遺跡や移住定住の取組み等について PR しました。

12月12日、移住体験事業で7月1日から30日まで移住体験用住宅で本市暮らしを体験し、9月末に東京都から移住した20代の男性に対し、移住者特典として市長より北秋田産のあきたこまち60kgを贈呈しました。

同日、市役所本庁舎において第1回「北秋田市総合戦略検証会議」を開催し、昨年度「北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定会議委員として産・官・学・金・労・言の各分野から参画していただいた20名の方々に対し、同戦略と第2次北秋田市総合計画の進捗状況を検証することを目的とした検証会議委員として委嘱状を交付しました。会議では、それぞれに記載している成果指標とそれに対する平成27年度の実績を基に、質疑や意見交換を実施しました。また、1月19日には第2回検証会議を開催し、各事業における効果検証及び事業評価の取りまとめを行いました。

12月20日、北秋田市行政評価委員会より今年度実施した8事務事業の評価結果について報告を受けました。委員会からの評価・意見については、今後の行政運営に活用してまいります。

12月25日、都内東京交通会館において秋田県が主催する「くらし×しごと」交流会に、本市から4事業所が参加し、移住者の各事業所への就業を目的とした就業体験事業をPRしたほか、本市でも移住相談ブースを出展し、移住先で仕事を探している方々と直接面談をしてきました。

1月15日、都内東京交通会館において秋田県が主催する「あきたで暮そう！移住相談会」に本市も出展し、来場者の応談のほか参加市町村によるプレゼンテーションにおいて冬の暮らしを中心にPRしました。

<内陸線再生支援室関係>

冬季の乗客数が減少するこの時季は、集客イベントの開催や企画列車を運行して、増客に努めております。12月には、秋田内陸縦貫鉄道や旅行会社が主催する「クリスマス イングリッシュ トレイン」が運行されたほか、「あきた犬っこ列車」の運行記念式典が行われました。1月には角館駅で、JR東日本と共催での「新春お出迎え」イベントが実施され、秋田内陸線では「新春雪見列車」が運行されました。さらに、沿線地域の魅力ある食を乗車客の方々へ無料提供する「おもてなし」サービスを、秋田内陸線支援団体のご協力をいただいて実施し、お客様から大変好評を得ました。また、阿仁合駅では「インバウンド旅行者1万人利用達成」の歓迎セレモニーが行われました。2月には、阿仁ふるさと文化センターを会場に「北秋田のおひなまつり」が実施され、秋田犬写真展や阿仁の雛めぐり街道として、珍しい雛展示が行われたほか、車内が雛飾りで彩られた「おひな様列車」も運行されるなど、秋田内陸線のPR等利用客の増加に努めました。

財務部

<財政課関係>

平成28年11月1日から平成29年1月31日までの工事等発注状況（500万円以上）は、下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表			
※ 500万円以上(消費税含む)			
平成28年11月1日～平成29年1月31日			
工事名または業務名等	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
旧秋北バス鷹巣営業所解体工事	H28.11.4	23,652	朝日建設(株)
住民情報系、内部情報系システム機器	H28.11.14	59,616	(株)アイシーエス秋田支店
情報セキュリティ構築委託	H28.11.16	17,712	(株)アイシーエス秋田支店
米内沢財産区有林間伐事業	H28.12.5	7,560	大館北秋田森林組合
住民情報系、内部情報系システム移行委託	H28.12.12	26,352	(株)アイシーエス秋田支店
情報セキュリティインターネット分離委託	H28.12.14	40,910	(株)アイシーエス秋田支店
番号制度厚労省システム改修総合運用テスト委託	H28.12.19	9,364	(株)アイシーエス秋田支店
財務部 7件		185,166	
介護用電動ベッド	H28.11.17	13,793	ワタキューセイモア (株)秋田営業所
健康福祉部 1件		13,793	
道路維持工事(その他市道 元7号糠沢線)	H28.12.22	9,072	(株)芳賀工務店
南鷹巣団地第1期5号棟建設工事	H29.1.12	42,336	朝日建設(株)
南鷹巣団地第1期4号棟建設工事	H29.1.12	32,076	(有)米広組
南鷹巣団地第1期3号棟建設工事	H29.1.12	28,512	(有)堀内工務店
河川維持工事(準用河川 曲川)	H29.1.16	6,912	(有)宗和
南鷹巣団地(M棟1号～12号)解体工事	H29.1.26	21,384	朝日建設(株)
建設部 6件		140,292	
合計 14件		339,251	

旧中央公民館の耐震診断の結果、耐震補強等の対策が必要である旨「建築物耐震診断等判定委員会」から通知があり、この結果を受けて、現在、当該建物の利活用について庁内で検討中であります。

また、旧秋北バス鷹巣営業所の解体工事も終了しております。

市が保有する建築物やインフラなどの公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点から今後の施設の整備や管理、有効活用を進めていくための基本的な方針を示した「北秋田市公共施設等総合管理計画」の策定を進めております。現在、この計画（案）を公表し、市民の皆さまから2月28日まで意見を募集しているところであり、今後、意見内容を反映させ、3月中の完成予定としております。

地籍調査事業については、鷹巣字上家下、帰道、愛宕下の3地区の対象地区の土地所有者の立会い協力により、対象面積0.15ha、557筆について一筆地調査を終えております。今後は、地籍図（案）を作成し「仮閲覧」を3月中に実施する予定としております。

また、平成27年度に実施した鷹巣字北中家下、南中家下、東中岱の一部、小中岱の一部については、最終点検となる認証請求を秋田県へ申請中であり、3月中に法務局へ送付する予定となっております。

市民生活部

<生活課関係>

北秋田市交通安全計画検討委員会からの提言を受け、12月12日、北秋田市交通安全対策会議を開催し、今後5年間の交通安全に関する施策の大綱を定めた「第2次北秋田市交通安全計画」を策定しました。同計画では、年間の交通事故死者数を1人以下、死傷者数を30人以下とすることを目標として、交通安全対策の推進を図ることとしています。

北秋田地区交通指導隊連合会と防犯指導隊連合会の安全祈願式及び査閲式が1月7日、阿仁ふるさと文化センターで開催されました。祈願式では平成29年中の各種活動の安全を祈願し、査閲式では服装及び規律の確認を行うとともに、警察署等関係団体と連携し、交通事故防止と犯罪の根絶に取り組むことを確認しました。

消費生活に係る安全3法に基づく立入検査を1月24日に実施しました。これは、日常使用する家庭製品による事故を防止し、消費者の安全を守るため、店舗で販売されている商品に法律で定められた表示項目があるかなどを検査するものです。市内の3店舗において暖房器具など15品目を検査したところ、検査対象商品については全て適正に販売されていることを確認しました。

北秋田市環境審議会では審議されていた「北秋田市環境基本計画」について、2月13日に同審議会から答申が行われました。この計画は、市民の健康で文化的な生活と豊かな自然を確保するため、市民、事業者、市のそれぞれの役割を示すとともに、環境の保全等に関する目標と施策の方向を定めるものです。

クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設建設工事の進捗率は、1月末で11.6%となっています。

<市民課関係>

平成29年1月末現在の住民登録者数は33,417人（内外国人154人）で、その内訳は、男15,593人（同13人）、女17,824人（同141人）、世帯数は14,193世帯（内外国人を含む世帯149世帯）となっております。個人番号カードについては、1月末現在で交付（作成）申請枚数が2,593枚となっております。申請枚数は、制度が始まって1年が経過しましたが、1月末現在の人口に占める割合は7.8%となっております。交付に当たっては、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）から本市に順次送付されてきており、1月末現在の交付枚数は2,074枚となっております。また、通知カードについては、受渡しできずに市が保管している件数は、1月末現在で132件となっております。

国民健康保険については、平成29年1月末現在の加入世帯数は5,165世帯で、被保険者数は7,853人（内一般被保険者数7,479人、退職被保険者数374人）で、その内、前期高齢者は4,152人となっております。

平成29年度の国民健康保険税の税率改定のため、平成28年12月14日、北秋田市国民健康保険運営協議会会長に対し、諮問書を提出しております。同月21日に開催された第3回北秋田市国民健康保険運営協議会において諮問内容が審議され、同月27日に答申を受けました。

後期高齢者医療保険については、平成29年1月末現在の被保険者数は7,951人で、その内若年障害者認定数は205人となっております。

健康福祉部

<福祉課関係>

平成29年度の保育所等の入所申し込み状況は、1月末現在で809人（公立保育所290人、私立保育所393人、認定こども園126人）で、平成28年度当初の入所児童数と比較し、12人の減となっております。

「臨時福祉給付金」及び「障害・遺族年金受給者向け給付金」については、1月末現在、それぞれ、7,694人に対し23,082千円（支給率79%）、670人に対し20,100千円（支給率86%）を支給しております。

<高齢福祉課関係>

福祉の雪事業については、1月末現在、914世帯が登録しており、昨年度とほぼ同数となっております。内訳は、高齢者ひとり暮らし世帯717世帯、高齢者のみの世帯162世帯、その他35世帯となっており、年々高齢者ひとり暮らし世帯の登録が増加しております。

12月分の作業実績では、利用があった世帯は249世帯、延べ利用回数1,005回、作業額866,825円、扶助費693,460円となっており、降雪量が少なかった昨年より利用回数、扶助費ともやや増加しております。

地域包括支援センターについては、「介護予防ボランティア養成講座」で17人の受講者が介護について学びました。介護予防ボランティアは地域で活躍することを目的としており、登録者は54人となりました。

在宅で高齢者を介護している方を対象とした「在宅介護者交流会」は市内5地区で行い58人の参加がありました。介護者の健康相談や適切な介護方法を学びながらレクリエーション等で心身のリフレッシュをしていただきました。

げんきワールドで開催している、保健師等の専門職が相談に応ずる「まちかどカフェ(移動相談日)」は、開設から1年が経過し市民への周知が図られたこともあり、気軽に立ち寄れる総合相談窓口として多くの方々に利用していただいております。

<医療健康課関係>

「第2期けんこう北秋田21計画」の策定については、今年度最終となる計画策定委員会を2月1日に開催し、計画案とスローガンについて審議していただいております。

成人保健事業については、1月末現在での特定保健指導修了者は、動機づけ支援対象者184人中69人、積極的支援対象者44人中12人となっております。

健康増進事業については、生活習慣病予防として、12月14日から1月30日まで「すこやか健康講座」を4回実施しており、延べ301人の参加がありました。また、市内小学6年生を対象に健康標語を募集したところ208作品の応募があり、その中の25作品については健康ガイドに掲載し紹介していきます。

母子保健事業については、1月末現在で、子育てサークル「にじいろリボン」は延べ143人の参加があり、乳幼児育成指導「スキップクラブ」には延べ91人が参加しており、年々対象者が増加しています。今後も事業内容の充実を図り、子育てを支援していきます。

食育推進事業については、12月から4地区15会場を地区巡回健康相談・心サロンと併せて実施しております。

心の健康づくり事業については、75歳以上の方607人を対象に、12月から16自治会を「ホッとあい訪問」として家庭訪問を実施しております。

予防接種事業については、12月末現在のインフルエンザ予防接種は、高齢者が6,901人、子どもと妊婦が3,212人で、高齢者の肺炎球菌予防接種については501人が接種を受けております。

献血推進事業については、1月末現在で844人の方々から協力いただいております。

第2回北秋田市医療連携センター運営協議会については、12月9日に開催され、これまでの事業経過等について報告されました。今後の計画として、訪問看護、認知症ワークショップを開催し、医療・介護の連携とスキルアップのための研修会等を開催することとしており、1月21日に認知症ワークショップ、同月25日には訪問看護ワークショップをそれぞれ開催し、多職種連携による困難事例の検討などを行っております。また、事業者向け医療・介護資源ガイドブックの内容を更新し医療介護事業者へ配布予定としており、今後も更なる医療・介護連携の促進、協力体制づくりを図ってまいります。

<診療所関係>

11月から1月までの市立3診療所の外来患者数については、阿仁診療所では、内科2,214人で前年同期対比188人(7.8%)の減、外科2,289人で前年同期対比338人(12.9%)の減、歯科789人で前年同期対比64人(7.5%)の減となっております。合川診療所では2,354人で、前年同期対比361人(13.3%)の減となっております。米内沢診療所では、内科4,263人で前年同期対比6人(0.2%)の増、小児科770人で前年同期対比129人(20.1%)の増、整形外科801人で前年同期対比44人(5.2%)の減、脳血管外科230人で前年同期対比33人(12.6%)の減、心臓血管外科33人で前年同期対比16人(32.7%)の減となっております。

今後も、地域住民の健康を守るため安定した診療所運営に努めてまいります。

産業部

<農林課>

平成29年産米の生産数量目標については、昨年末に国から県に408,644トン、県から本市に16,089トンが提示され、面積換算値では3,007.29haであります。平成28年産米の配分より258トン(1.58%)の減、面積換算値では42.52ha減となりました。これに基づき、1月27日に北

秋田市農業再生協議会を開催して、J A鷹巣町に 8,777 トン、J Aあきた北央に 7,197 トン、市内主食集荷商業者に 115 トンの生産数量目標の配分方針を示したところです。

なお、平成 30 年以降は行政による生産数量目標の配分に頼らず、生産者・出荷業者自らが生産量の判断ができるよう平成 27 年産米より「都道府県段階における自主的取組参考値」が設定されており、秋田県では「市町村における自主的取組参考値」を設定しています。本市の自主的取組参考値は 16,045 トンで生産数量目標よりさらに 44 トン少ない数量となります。

公有林整備事業については、市営林の健全な育成を図るため、綴子字五兵エ沢地内ほか 2 件の間伐業務(18.02ha)を発注しております。

マツ林・ナラ林等健全化事業については、松くい虫の被害を受けて枯れたマツの伐倒処理を、鉢巻山付近ほか 12 地区で実施しております。

<商工観光課関係>

中心市街地活性化対策については、鷹巣地区中心商店街の冬の賑わいを作り出そうと、12 月 11 日から 2 月 7 日まで「第 9 回北秋田きらきらフェスティバル」が開催され、米代児童公園の S L のライトアップや樹木等イルミネーションの拡大、音楽祭などのほか、北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」の活用及び商店街との連携によるイベント等で商店街に活気を呼びました。

企業誘致対策については、秋田県企業誘致推進協議会主催による「秋田県・県内市町村と関西圏企業との懇談会」が 1 月 24 日に大阪市で、翌 25 日には「秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会」が東京都で開催され、本市の誘致企業をはじめ秋田県内関連企業との情報交換を行いました。

観光振興については、森吉山阿仁スキー場が 12 月 10 日に冬のシーズンがスタートしており、来客数は昨年を上回り、順調な滑り出しとなっております。また、1 月 7 日から 3 月 5 日までの期間で樹氷鑑賞が始まりました。期間中は好評の「夜の樹氷鑑賞会」の実施やドローンを活用して撮影した映像の配信、さらには、海外の旅行業者を招いたツアーなど積極的な誘客活動を実施しております。今年度は日本 3 大樹氷鑑賞地として、青森八甲田、山形蔵王と 3 市連携による誘客活動を積極的に推進するため、2 月 4 日に山形市で開催された「国際樹氷サミット」において、3 市で「世界に誇る“樹氷”観光地宣言」をし、樹氷を冠する山々の魅力を活かした観光とまちづくりを共に進めることを確認しております。今後、海外を含め、更なる誘客の増に繋がるものと期待しているところです。

冬期間に減少傾向にある宿泊利用者の増加を図るため、1 月 1 日から 3 月 20 日までの期間で「北秋田市おもてなし宿泊支援事業」を実施しており、宿泊事業者による宿泊プランで北秋田市の魅力を十分に味わっていただくおもてなし事業が展開されております。

新春恒例の「綴子大太鼓たたき初め」が、1 月 2 日に大太鼓の館で開催されました。綴子上町・下町それぞれの太鼓保存会が大音響を轟かせ、今年 1 年の安全と地域の発展を願いました。

「第12回全国どぶろく研究大会」が長崎県南島原市で2月9日に開催されました。幹事である本市とマタギの里観光開発株式会社が参加をしております。次回開催地は、岩手県遠野市に決定しました。

「第23回鷹巣もちっこ市」が、2月11日12日に大太鼓の館駐車場において開催されました。特設テント内に設置された飲食ブースをはじめ物販ブースでは、北あきたバター餅を始め、手作り餅やお焼き餅、その他の地元特産品が販売され、たくさんの来場客で大いに賑わいました。

昨年11月に秋田北鷹高校と姉妹校協定を締結した台湾国立龍潭^{ロンタン}高級中学の一行36人が日本への教育旅行期間中の2月21日に、秋田北鷹高校において研究発表や部活動体験などの教育交流を実施しました。その他、本市への教育交流については、2月14日から15日にかけて台湾桃園市立平鎮^{ピンチェン}高級中学の一行42人が本市を訪れ、森吉山阿仁スキー場で樹氷鑑賞やスキー体験を実施しており、これまでの台湾でのトップセールスや海外誘客への取り組みの成果の表れと考えております。

建設部

<都市計画課関係>

南鷹巣団地建替事業については、国の第2次補正予算の成立に伴う社会資本整備総合交付金の追加決定により、本年度の2次工事として建築本体工事（木造平屋2戸建2棟、木造平屋3戸建1棟：計7戸）の工事請負契約を1月に締結し、建築工事に着手しております。また、解体工事（2棟12戸）についても、工事請負契約を1月に締結しております。

<建設課関係>

平成28年11月1日から平成29年1月31日までの道路関係工事発注及び完成状況は、下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表	
平成28年11月1日～平成29年1月31日	
工事名または業務名等	
排水維持工事（その他市道 中屋敷1号線）	
	排水維持工事 1件
道路維持工事（その他市道 元7号糠沢線）	道路維持工事(その他市道 田子ヶ沢～岩谷線)

道路維持工事（その他市道 前野中央北線）	綴子～小田線道路維持工事
道路維持工事 4件	

工事等完成一覧表	
平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日	
工事名または業務名等	
排水維持工事（2級市道 元7号綴子線）	排水維持工事（2級市道 羽根山羽立線）
排水維持工事（その他市道 浦支内線）	排水維持工事（その他市道 李岱鍛町線）
排水維持工事 4件	
舗装維持工事（1級市道 七日市～松沢線）	舗装維持工事（1級市道 綴子～小田線）
舗装維持工事（1級市道 駅前通線）	舗装維持工事（1級市道 銀山水無線）
舗装維持工事（1級市道 石坂向本城線）	舗装維持工事（1級市道 元町～東上綱線）
舗装維持工事（2級市道 幸屋線）	舗装維持工事（2級市道 天甫通～横町線）
舗装維持工事（その他市道 中新田横渕線）	坊沢川端線舗装維持工事
舗装維持工事 10件	
交通安全施設工事（1級市道 米内沢駅前通線）	交通安全施設工事（その他市道 中新田横渕線）
交通安全施設工事（その他市道 西根田羽根山線）	
交通安全施設工事 3件	
道路維持工事（1級市道 荒瀬川線）	道路維持工事（その他市道 比立内中央線）
道路維持工事（その他市道 藤株～焼却場線）	
道路維持工事 3件	
河川維持工事（準用河川 務沢川）	河川維持工事（準用河川 湯車川）
河川維持工事（準用河川 田沢川）	
河川維持工事 3件	
橋梁補修工事（根子橋）	橋梁補修工事（伏影橋）

橋梁補修工事（五味堀橋）	橋梁補修詳細設計業務委託（杉苗岱橋）
橋梁補修詳細設計業務委託（高淵陸橋）	
社会資本整備交付金事業 5件	

除雪事業については、昨年より降雪量が多いことから、12月から1月末までの一斉除雪出動日数は、鷹巣地区9日、合川地区15日、森吉地区17日、阿仁地区26日となっております。

<上下水道課関係>

上水道事業については、堂ヶ岱地区配水管布設工事（1工区・2工区）がそれぞれ完成しております。

簡易水道事業については、五味堀橋橋梁補修に伴う水道管橋梁添架金物架設工事が完成しております。

森吉・合川地区統合簡易水道施設整備事業については、米内沢浄水場土木建築工事、米内沢送水管布設工事（第1～4工区）、三木田増圧ポンプ場建設他工事、簡易水道既設配水管廃止仕切弁設置工事が完成しております。また、国の第2次補正予算により前田送水ポンプ場他建設工事、神成送水ポンプ場他建設工事2件を新たに発注しております。

浄化槽設置整備事業については、鷹巣地区21基、合川地区2基、森吉地区3基及び阿仁地区1基が完成しております。

	鷹巣地区	合川地区	森吉地区	阿仁地区	合計
5人槽	13基	2基	1基	1基	17基
7人槽	7基		2基		9基
10人槽	1基				1基
計	21基	2基	3基	1基	27基

消防本部

<常備消防関係>

平成28年11月11日から平成29年2月2日までの火災、救急救助等の発生状況については、建物火災は1件発生し、住家1棟半焼、非住家1棟が全焼となっております。

救急出場件数は380件で、種別では急病266件、一般負傷39件、交通事故28件、となっております。また、除雪中の事故が2件発生し2人を搬送しております。ドクターヘリは、9件の出場要請で5人の傷病者を搬送しております。

救助出場は 20 件、捜索救助出場は 2 件発生し死亡発見 1 人、行方不明者 1 人となっております。

年末には、不特定多数収容施設の防火安全対策の徹底を図るため、大型店を対象とした特別査察を実施しました。

職員研修については、秋田県消防学校（由利本荘市）で第 25 期救急科（平成 29 年 1 月 10 日～2 月 28 日）に 3 人の職員が入校し救急現場で必要とされる知識と技術の習得に努め救急体制の強化を図っており、1 月 26 日、27 日には兵庫県で開催された全国救急隊員シンポジウムに 1 人が参加しております。

2 月 1 日には北秋田地域振興局主催の平成 28 年度自主防災組織リーダー研修が北秋田市交流センターで開催され、技術講習の「安全な雪下ろし作業」では署員が実技指導を行い、転落防止や落雪による災害防止に努めています。

各種訓練については、冬山観光シーズンを迎え 12 月 8 日に森吉山阿仁スキー場で山岳会、警察等関係機関と合同で冬季山岳捜索救助訓練を実施しました。また、1 月 25 日 26 日の両日、男鹿海洋高校で水難救助訓練を実施し、潜水における検索救助技術の向上に努めております。更に、1 月 26 日の文化財防火デーに伴い、1 月 22 日阿仁専念寺を皮切りに、各地区住民参加のもと火災想定訓練を実施しました。

<非常備消防関係>

北秋田市消防出初式が、1 月 4 日北秋田市文化会館で開催されました。旧中央公民館前から分列行進を開始し、北都銀行鷹巣支店前で、市長、副知事、団長、消防長の観閲を受け、市民に堂々とした歩みを見せ地域防災を担う心意気を示しました。その後、文化会館において式典を行い、功績のあった消防団員や永年勤続の消防団員の表彰を行うとともに、今年一年の無火災を祈願しました。

1 月 22 日と 29 日には、文化財防火デー（1 月 26 日）にちなんだ火災想定訓練が市内 4 地区（阿仁、鷹巣、森吉、合川）で行われ、消防団と地域住民との連携、協力体制の強化を図り防災意識の高揚を図っております。

教育委員会

<総務課関係>

今年度から実施している教育留学事業関連で、冬季休業中を利用した「短期チャレンジ留学Ⅱ」が、12 月 25 日から 29 日までの日程で、合川学童研修センターを利用して行われました。参加者は、関東地方を中心に 16 人の小学生が参加しており、この内、夏季の「短期チャレンジ留学」に

も参加した方が6人おりました。参加者からは、「勉強が楽しかった」「勉強がわかりやすい」「体験活動が楽しかった」など、評判はすこぶる良いものでした。中には、「来年度また参加したい」という児童も多くおりました。

あきたリフレッシュ学園の利用者数は、1月末現在で16人、延べ利用日数は169日となっております。その内市内の児童生徒は8人が利用しております。

<学校教育課関係>

12月18日、滋賀県野州市で開催された全国中学生駅伝競走大会に、鷹巣中学校女子チームが出場しました。10度目の全国大会出場により「特別賞」が授与されております。また、1月12日から開催された全県中学校スキー大会で、合川中学校男子リレーチーム・女子リレーチームが優勝しました。

1月10日には、市教育センター所員発表会が開催され、教育実践等について発表があり所員が研修を深めました。特別支援教育についての講演も行われ大変好評でした。

来年度、小学校入学予定者数は186名、中学校入学予定者数は222名となっております。

<生涯学習課関係>

生涯学習推進事業については、12月17日北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」で、「生涯学習フェスタ」が開催されました。公民館講座など生涯学習に励んでいる人たちや、地域で社会参加活動を行っている個人・団体が一堂に会し、ステージ発表や体験コーナーなど多彩なプログラムを楽しむと共に、お互いの交流を深め、学びの輪を広げました。

また、1月11日には同プラザで、市内の小学生等を対象に「冬の笑楽校」が開催され、普段の学校の授業とはひと味違った様々な授業を体験しました。

文化財事業については、1月26日の「文化財防火デー」に合わせて、1月22日に阿仁地区の専念寺、1月29日に鷹巣地区の内館文庫、合川地区の太平寺、森吉地区の重要文化財金家住宅の4か所で文化財防火デー想定訓練が行われました。このうち森吉地区の金家住宅では、市教育委員会の主催で実施され、市消防本部森吉分署、消防団第9分団、本城自治会から約50人が参加し、放水訓練や水消火器を使用しての初期消火訓練等を行い、地域の貴重な文化財を火災から守るための意識の高揚を図りました。

<スポーツ振興課>

12月2日、北秋田市スポーツ少年団長縄跳び交流会兼第19回北秋田市長縄跳び大会が、合川体育館を会場に開催されました。夜にもかかわらず選手や保護者、観客を含め500名を超える市民が参加し、小中学生や一般など多様に編成された22チームが体力とチームワークの限界に挑みましました。

12月22日、市営薬師山スキー場開きが行われ、関係者出席のもと今シーズンの安全を祈願しました。

1月22日、第10回北秋田市民スキー大会が市営薬師山スキー場で開催されました。雪不足により開催が危ぶまれましたが、大回転やスノーボード、距離の各競技に5歳から85歳までの世代を超えた124名の選手が参加し、熱戦が繰り広げられました。また、第10回記念として参加選手を対象に行なった抽選会では、会場に多くの方が集まり大いに盛り上がりました。

2月5日、第69回大館・北秋田中学校スキー大会及び第62回北秋田学童スキー大会のアルペン競技が森吉山阿仁スキー場を会場に、クロスカンントリー競技は空港ふれあい緑地広場を会場に開催されました。両会場合わせて105名の選手が、家族らの声援を受け熱戦を繰り広げました。